

## 岡山家庭裁判所委員会議事概要

### 第1 日時

平成20年7月9日(水)午後3時

### 第2 場所

岡山家庭裁判所大会議室

### 第3 出席者

13人(男性9人,女性4人)中11人(男性7人,女性4人)の委員が出席

### 第4 議事

#### 1 岡山家庭裁判所長あいさつ

#### 2 意見交換等(家裁委員, 説明者)

テーマ「家事調停制度について」

- (1) 家事調停の手續に関するDVDビデオの視聴の後,総務課長から,裁判所主催の研修及び研究会,裁判所及び調停協会主催の調停セミナー及び調停協会主催の自主研修会について説明が行われた後に,次のような意見等が述べられた。

#### 【新任調停委員の研修について】

実際の現場では,新人の指導という意味で,ベテランの調停委員と新人の調停委員の組み合わせが大切であるという印象を持った。

裁判所では,新任の調停委員に対する研修は,任命後間もない時期に一度行っていたが,この方式を改め,任命直後に一度研修を行い,その後実際に実務経験を積んだ後に再度研修を行う方式に改めた。

最初の研修で概略を知って,実務をある程度経験した後でまた研修を行うというのは,研修を受ける側にとっても効果が上がり良いことであると思う。

#### 【調停委員の研修の実施方法等について】

研修においては,最近では講義形式ばかりでなく,ロールプレイなどの実践方式もあるので,そのようなものを取り入れてもよいと思う。

研修も当初は,講義形式で法律的な知識を得る勉強が中心であったが,その後調停の技法を学んでいくことにシフトして,最近ではロールプレイなどの方法を取り入れたりしている。

調停委員の声を反映した研修も行われているのか。

調停委員にアンケートを実施したりして研修のテーマを選定している。

調停での成功例,失敗例を知ることでもスキルアップを図ることができると思う。

自庁のみの研修ではなく,外部の機関が行っている研修の活用を考えてもよいと思う。

#### 【調停利用者の意見について】

調停の利用者は,公平性や情報伝達の正確性について,不安を持つことが多い。

調停を利用した人のクレームを吸い上げて,良い方向に生かすことができればよいのではないかと思う。裁判所では,アンケートボックスを設置しており,利用者の意見をお聞きして,よりよい方向に手当していきたいと考えている。

利用者の意見を吸い上げるには,最近ではメールを使用する人が多いので,メールを利用するのも方法の一つであると思う。

利用者の意見を聞くためには,裁判所と関わりのない第三者機関が行わないと難しいのかなとも思う。

#### 【その他】

調停委員は、時代の流れ、考えについていくために、法律の知識プラスアルファとして、例えば最近の結婚観の変遷など時代の価値観等についての知識も得ておく必要がある。

#### 4 次回期日等

今回は、平成20年11月13日(木)に引き続き調停委員に関する事項をテーマに開催されることになった。